



試乗 チェック

購入前に自分でできる 試乗時のチェック

車選びに欠かせないのが試乗運転！ お気に入りの車が見つかったら必ず試乗し、車の状態を細かくチェックしよう。引き続き、内山さんがチェックのポイントを紹介。

ボデー

- 目立つ錆や傷がない。
- 軽く叩き音が違う部分がない。
※明らかに音が違う部分は取り替えてある可能性がある。



走行中

- エアコン、ラジオをすべて消し、窓を閉めた状態で走行しても、異音がない。
- 思った位置で停止することができる。その際、異音がない。また、ブレーキのペダルがスポンジのようにやわらかくないことを確認。



タイヤ

- 均等に磨り減っている。
※磨り減り部分が偏っている場合は、空気圧に異常があったり、事故車の可能性がある。その場合、試乗中に平らな道でハンドルを少し離しても、車がまっすぐ走行するか確認。

インテリア

- 全シートのシートベルトがロックできる。また、シートベルトの急停止ができています。
- 窓、ドア、ワイパー、エアコン、ウィンカー、クラクションなど正常に可動する。
- シートが揺れない。



ハンドル

- ハンドルが思った通りに動く。
- タイヤが正面を向いている状態の時に、ハンドルの頂点がズれていない。ズれている場合は、1度修理などでハンドルを取り外している可能性がある。



エンジン

- 車が冷えている状態でエンジンをかけても、スムーズにエンジンがかかり、アイドリング(エンジンの回転)が安定している。
- ギアをドライブに入れブレーキを踏み、エアコン、ライト(ハイ)、ハザードなど、電気系統を全て動かした状態でもアイドリングが安定している。水温計が上がりすぎない。
※水温計が上がりすぎるとオーバーヒートの原因になる。

オイル漏れ

- エンジンをかけた状態でボンネット部分の真下(エンジンとギアボックスがある部分)を覗き込んでも、オイルが漏れていない。(エアコンの水と間違えないように気をつける。エアコンの水は運転席と助手席の真下あたりから漏れる)

